

平成26年度

大和市文化芸術賞受賞者



文化芸術賞

ゆい じゅんこ

結 純子 氏（舞台俳優・演出家）

複数の劇団に所属後、自ら劇団を立ち上げ、俳優として活動。
愚安亭 遊佐氏のひとり芝居「人生一発勝負」（平成11年度文化庁芸術祭優秀賞受賞）の構成・演出家としても知られており、演劇分野で人々の心に感動を与え続けています。

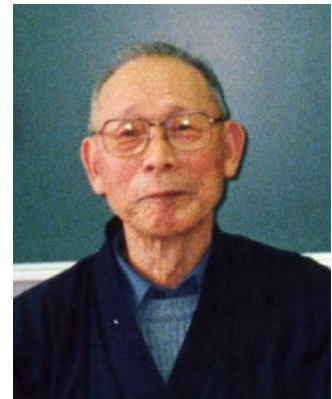


文化芸術振興賞

もとよし かおる

本吉 薫 氏（日本画家）

東京都民美術展運営会名誉理事。
平成元年の現代水墨画展の大賞をはじめ、入賞、入選は多数。長年、市民を対象とした水墨画の指導を数多く行い、後進の育成に力を注いでおられます。



文化芸術未来賞

いしい ふうこ

石井 楓子 氏（ピアニスト）

平成25年 第82回日本音楽コンクールで第1位。
ピアノ部門での女性の優勝は8年ぶり。日本音楽コンクールは、日本国内における権威と伝統のあるコンクールであり、将来が囑望されている音楽家です。



文化芸術未来賞

つのだ だいすけ
角田 大典 氏（棋士）

平成26年 第9回朝日アマチュア囲碁名人戦全国大会で優勝。
同大会は、朝日新聞社と日本棋院が主催する囲碁のアマチュア棋士日本一を決める大会で、これを契機に、今後のさらなる活躍が期待されています。



文化芸術未来賞

おおすみ つよし
大澄 剛 氏（漫画家）

平成19年漫画雑誌「IKKI」の新人賞を受賞。
プロデビューし、「家族ランドマーク」、「少年少女ランドマーク」、「このゆびとまれ」の単行本を発行。南林間を舞台とした作品が多く、駅前や商店街、公園などの見慣れた景色が登場しています。



文化芸術未来賞

むらせ かつとし
村瀬 克俊 氏（漫画家）

平成15年に「福輪術—ふくわじゅつ—」でジャンプ十二傑新人漫画賞佳作を受賞。翌年に漫画家デビューを果たし、「Kick! コータ!!」、「K. O. SEN」、「DOIS SOL」などの作品を発表。現在、大和市を舞台としたキックボクシングの物語「モンダレル」が単行本として発売されています。



◆「大和市文化芸術顕彰」とは、平成21年12月に制定した大和市文化芸術振興条例に基づき実施しているものです。11月3日（文化の日）に市内を拠点に優れた創造活動を行っているアーティストや大和の文化芸術の発展に貢献した人を対象にしています。

文化芸術三賞

- 〈文化芸術賞〉 文化芸術の分野における活躍が顕著で、その功績を称えることが、市の文化芸術振興に寄与するものと認められる人（または団体）に贈られます。
- 〈文化芸術振興賞〉 市の文化芸術振興に長きにわたって貢献し、その功績を称える必要があると認められる人（または団体）に贈られます。
- 〈文化芸術未来賞〉 未来の活躍が期待され、その活動を称えることが、受賞者の活動を後押しし、ひいては市の文化芸術振興に貢献すると期待できる人（または団体）に贈られます。